

## CSRトピックス

### 高田頭取、「経営者賞」を受賞

総合ビジネス誌「財界」の平成18年度「財界賞・経営者賞」の贈呈式が平成19年1月12日、東京・丸の内内の東京會館で開かれ、頭取の高田絃一が「経営者賞」を受賞しました。

地域経済を支える地方銀行として、琵琶湖、そして地球環境の保全をめざして全行あげて「環境経営」を展開するとともに、CSRを追求するという「環境重視の経営は、金融界のみならず、全産業の見本となるもので、その意義は大きく、高く評価される」（審査評）として今回の受賞に至りました。

高田頭取は、受賞スピーチにおいて、『21世紀は“平和”と“環境”の世紀にしなければならない。今後とも地域の皆さまと手を携えて、地域から環境ビジネスのベストプラクティスを積み上げていきたい。』と地域社会、地球環境との共存共栄への熱い思いを語りました。



### 「カーボンニュートラルローン 未来よし」 ～ニゴロブナ放流事業へ120万円を寄贈～

環境対応型金融商品「カーボンニュートラルローン 未来よし」の拠出金120万円を、「ニゴロブナ・ホンモロコ増殖事業」を展開中の財団法人滋賀県水産振興協会が行う放流事業に寄贈し、高田絃一頭取が嘉田知事へ目録を贈呈しました。（平成19年6月）

これは、琵琶湖の固有種「ニゴロブナ」の放流・増殖を推進し、琵琶湖の環境を保全してCSRを追求しようとの取り組みで、今後、滋賀県内各地の琵琶湖沖で「ニゴロブナ」が放流されます。

なお、平成18年度の対象となる商品は、合計104件のご利用があり、CO<sub>2</sub>排出削減量で約327tの削減効果がありました。この削減量を「EUI排出権取引価格」により金額換算し、今回120万円を寄贈しました。



### 子どもたちの安全を願って

#### ～スクールガード活動の自転車寄贈～

しがぎん交通安全さざなみ会は、スクールガード活動を支援するための自転車を、滋賀県内の全市・町立小学校に役立てていただくこと、平成19年1月30日、同会会長の高田絃一頭取が嘉田滋賀県知事へ目録を贈呈しました。

同会は、30年以上にわたり滋賀県内の小学校の新入学生に、交通安全標語の入った鉛筆等の記念品を贈るなど、「交通安全に対する啓蒙活動」を行ってききましたが、同会の会員数減少による解散にともない、各校に1台ずつ計231台の自転車を贈呈したもので、子どもたちが安心して通学するためのパトロール活動などに役立てられています。



### 「エコプラス定期」

#### ～滋賀県内小学校3校に150万円を寄贈～

環境対応型金融商品「しがぎん」エコプラス定期の拠出金を、環境学習に役立てるための「学校ビオトープ」づくりの活動資金として、滋賀県内の湖北町立速水小学校と高島市立今津北小学校、および米原市立醒井小学校へ各々50万円、合計150万円を寄贈いたしました。（平成19年6月）

これは、「環境学習の場の提供」として学校やその周辺に生き物の棲息する空間の保全・復元・創造に向けた取り組みである「学校ビオトープ」づくりに対して支援を行うことで、未来を担う子どもたちに、自然の仕組みについての体験を通して、命や環境の大切さを学んでもらうきっかけを作るお手伝いをしたいとの思いを込めています。



草津市下笠

### 新築店舗のエコ仕様

新築した店舗は、BCP(事業継続計画)とCSR(企業の社会的責任)の観点から、さまざまな設備を導入しています。



その一例として、平成18年8月に新築移転した堅田駅前支店には「自家発電装置」を備え、災害による停電時などでもお客さまに安心してご利用いただける体制を整えています。



また、平成19年4月に新築移転した安土支店では、アスファルトに木質のリサイクル材を混ぜることで雨水を大地に浸透させる「透水性舗装材」の利用や、「太陽光によるソーラー街路灯」を設置するなど、地球環境にも配慮した仕様となっています。

### 「UNEP金融機関声明」の精神で活動

当行は、国連環境計画(UNEP、本部:ケニア・ナイロビ)が提唱している「環境と持続可能な発展に関する金融機関声明」に市中銀行で初めて署名(平成13年10月)しています。

声明には、環境破壊を予見し、回避するための予防的な取り組みを支援する エネルギーの節約、資源の再利用に努める 環境保全を進める商品・サービスを開発する など3分野17項目の環境目標が掲げられています。

また、UNEP主催で平成15年10月、アジアで初めて東京で開かれた「『金融機関声明』国際会議」で「持続可能な社会の実現に向けての東京原則」が採択されています。

当行では、「環境経営」を展開し、「金融機関声明」、「東京原則」の精神の実現に努めています。

#### 持続可能な社会の実現に向けての東京原則

金融機関は、その投融资あるいは保険の対象とするプロジェクトもしくは事業者が、社会もしくは環境にどのような影響を与えるかについてあらかじめ適切に考慮し、社会・環境に与える影響が望ましい方向になるべく投融资及び保険の対象の選定その他において適切な行動をとる。金融機関は、環境の保全もしくは社会の持続的発展に資する事業を積極的に選択し、これを投融资活動において支援し、また保険や資産運用など金融商品の開発販売においても環境の保全もしくは社会の持続的発展に資するような商品を普及するべく努力する。金融機関は、上記の金融活動を行うに際し、自らの経営方針、組織体制、情報開示の指針等ガバナンス全般について最適な体制を採るとともに、その直接的な環境影響等についても十分に留意する。金融機関は、あらゆるステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、持続可能な社会の実現に資する普及啓発に努めるものとする。

### 各エリア・各支店ごとにCSR活動を展開中

一人ひとりの地道な活動が、やがて大きな実を結ぶとの願いから、各エリアや各支店単位でのCSR活動を推進しています。



地域の美化活動や植樹、地元行事への参加、使用済切手の回収や、支店窓口での外国コインの収集などを呼びかけています。収集された使用済切手や外国コインは、海外で貧困に苦しむ方たちの救済に役立てていただいています。

また、CSR通信により、各店・各エリアのCSRの取り組み内容を中心にベストプラクティスを発信し、全役職員への更なる意識づけを目的にコミュニケーションツールとして活用しています。



### SRIファンドの組み入れ状況

当行は、英国の新聞フィナンシャル・タイムズとロンドン証券取引所の合併会社であるFTSE社の「FTSE4Good Global Index」の構成銘柄に3年連続で選ばれています。



FTSE社は、業務・財務面だけでなく、企業全体のパフォーマンスを評価するSRI(社会的責任投資)の最も有力でグローバルな指標のひとつとして権威ある、FTSE4Good Index シリーズを公表しています。

また、投資信託情報などを提供するモーニングスター株式会社(本社・東京)が組成・管理する「モーニングスター社会的責任投資(SRI)株価指数」の構成銘柄にも5年連続で選ばれています。

これは、資産運用の企業評価基準として、CSR(企業の社会的責任)の取り組み度合いを組み込んだ投資手法で、当行は3,600社の中から150社に選定されています。

守山市なぎさ公園